

<9月のこよみ>

- 1日 二百十日 防災の日
- 11日 二百二十日
- 15日 敬老の日
- 16日 家庭の日
- 20日 動物愛護週間
- 21日 彼岸入り
秋の全国交通安全運動
- 24日 秋分の日
- 27日 彼岸明け

町だより

広報こすど

人口のうごき

(54・8・1現在)

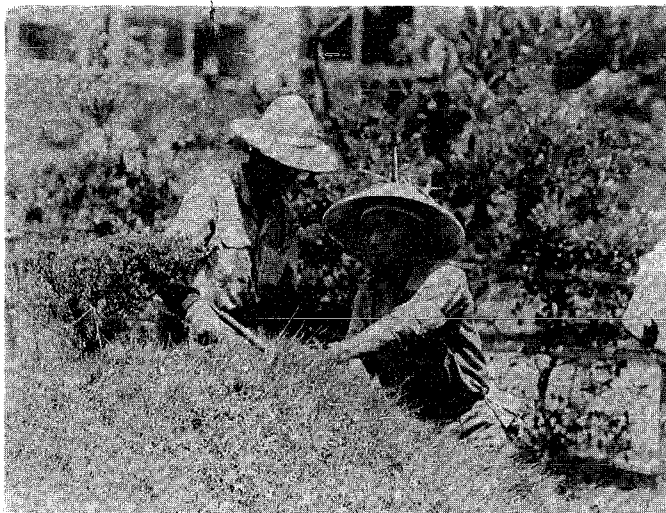
男 5,167 (+4)
 女 5,499 (+13)
 計 10,666 (+17)
 世帯数 2,443 (±0)

No.78

昭和54年

9/1

発行所 小須戸町役場 ☎ 3111
 毎月1日発行 印刷 玉庭印刷所



生きがいづくりはみんなの手で

老人福祉週間

九月十五日は「敬老の日」。またこの日から一週間は「老人福祉週間」です。
 お年寄りは、これまで永年にならなかつた社会に貢献してこられました。長寿を心からお祝いするとともに、今後も今

日までつちかかってきた知識と経験を社会に役立てていきたきたいものです。こうした場合、お年寄りの生きがいに同時に世代を越えた新しいコミュニケーションの場にもなるのではないでしょう

か。……老人に生きがいのある社会を共に築いていきたいものです。

写真 草刈奉仕（老人福祉センターにて）

高齢者社会

かけ足でやってくる

現在、わが国の六十歳以上のお年寄りは約四千万人で総人口の二二%を占めています。つまり、百人のうち十二人がお年寄りというわけですがこれが二十六年後の昭和八十年には、人口百人当たり二十人を越えることと予測されています。国民全体の二割が六十歳以上のお年寄りということになるのです。

わが国の場合の高齢者社会へのテンポがいかに速いか、諸外国と比較すると一目瞭然です。

たとえば、国民全体に占める六十歳以上の人口の割合が八%から一八%に増えるまでの期間を比べると次の通りです。

フランス	一七七年
スウェーデン	一〇三年
イギリス	五六年
ドイツ	五四年
日本	四七年

つまり、フランスが百七十七年かかっているところを、わが国は四十年で到達してしまふのです。それは昭和七十年と予測されていますが、高齢者社会は文字通り、かけ足でやってくるようとしているのです。

ところで、昭和七十年に六十歳になる人、つまりお年寄りの仲間入りをされる方は、いま働き盛りの四十四歳です。お年寄りの福祉を進め、生きがいのある社会を築くことは、世代を越えた連帯の中です。わたしたち一人一人が、力を

敬老会ご案内

多年にわたり社会に尽力された老人を敬愛し、長寿を祝う趣旨で、今年も七十五才以上（四百四十名）を対象に次により敬老会を行います。

記

日時 9月15日（土）
 午前10時30分

場所 町民体育館

合わせて解決していかねばならない課題といえましよう。

選挙人名簿の縦覧

（九月一日基準日）

九月一日で新たに選挙権を有する方の定時登録選挙人名簿を次により縦覧します。

一、場所 役場一階ロビー
 一、縦覧期間 九月十一日～九月十五日

（注）対象者

◎ 当町に転入し六月一日以前に住民票に登録された方、
 ◎ 昭和三十四年九月二日以前に出生し成人となった方
 ※ その他転出（基準日まで四ヶ月経過）死亡は抹消されません。

（現在、報道等で話題の選挙のためのものではありません）
 法律で定められている年一回の基準日現在のものです。）